

平成30年4月19日(木)午後1時30分から

ページ	議員からの意見	事務局の回答
第1章 総合計画の策定にあたって		
3 第6次総合計画の策定方針		
2	タイトル「まちづくりを「自分事」として、捉えられる総合計画に」の本文、2行目に「より多くの方々の意見を伺いました。」とあるが、全体的にその意見に対してどのように取り組んでいくのかが見えない。	「住民の声」という枠を設けて記載しているが、この内容で表現が分かりにくいのであれば、改めて審議会で検討していきたい。
2	タイトル「それぞれの役割を示し、「誰もがイメージできる」総合計画に」の本文、1行目に「住民の皆さん」「将来東浦町に住みたいと考えている方」とよっての総合計画と捉えられるが、「まちで活動する方」は記載しなくてよいか。	「まちで活動する方」の表現を追加することも含めて審議会で検討する。
4 東浦町ってどんなまち？		
(2)東浦町をとりまく現況		
4	「(2) 東浦町をとりまく状況」の本文と、最終ページの「住民の声」では、関連性が見えてこない。	審議会等で検討する。
第2章 基本構想		
1 東浦町のまちづくりの考え方		
7	タイトル「あるものを活かしたまちづくりをします」の本文で、14行目で「～ない」「～があれば」という表現を記載しているため、タイトル「まちに住む人、まちで活動する人と一緒にまちづくりを考えます」の本文、6行目で、「～ならできる」という発想を個人が持つことによって「共助」であるというような記載内容を追加してもよいのではないかな。	審議会等で検討する。
2 将来の東浦町の姿		
8	6行目で「みんな事」との記載があるが、人によって定義が異なるのではないかな。	「みんな事」の表現については、内部で検討した。厚生労働省では、「我がごと、丸ごと」という言葉をして使用しており、自分自身が支えられる側だけでなく、支え手側になるという考え方も検討したが、福祉分野のみでなく、ハード面での課題への取組も含めて「みんな事」という表現にした。内容については、審議会等で検討する。
8	タイトル「ささえあうまちへ」の本文で、「自助」「共助」「公助」の記載があるが、「自助」と「共助」の間に「互助」の表現も含めて記載してみてもどうか。	審議会等で検討する。
4 将来の土地利用		
10	タイトル「移動しやすく暮らしやすいコンパクトなまちにします」とあるが、「コンパクトなまち」という意味が、本文中ではわかりにくく、具体的に誰もがイメージできる記載にしたほうが良いのではないかな。	具体的な記載をするか否かについては、審議会の中で検討していく。
東浦町総合計画基本構想(案)全体に関する意見		
全	少子高齢社会を見据えた場合、空き家対策も必要になると考えるが、基本構想の中では記載しないのか。	「空き家」という言葉は使っていないが、10ページのタイトル「移動しやすく暮らしやすいコンパクトなまちにします」の本文、1行目の「民間の建築物など」という言葉に空き家を含んで考えている。
全	「住民の声」だが、ページの内容と対応していないように感じる。「住民の声」ということなので、意見のあった内容(言葉づかいも含めて)をそのまま記載してみてもどうか。また、ページと対応していなくても、空いたスペースにプチコーナーとして記載してもよいのでは。	ページ内容と対応した記載のつもりであったが、内容が甘かった。記載内容については、審議会にて検討する。
全	「住民の声」だが、住民意識調査の意見も含めてみてはどうか。	反映の仕方や表現方法なども含めて、審議会等で検討する。
全	タイトル以外にも「キーワード」となる語句は太字などで目立つようにしたほうが良いのではないかな。	住民の方に読んでもらえるようタイトルの字体を変えてみたり、かっこを活用してみたが、太字も含めて審議会等で検討する。